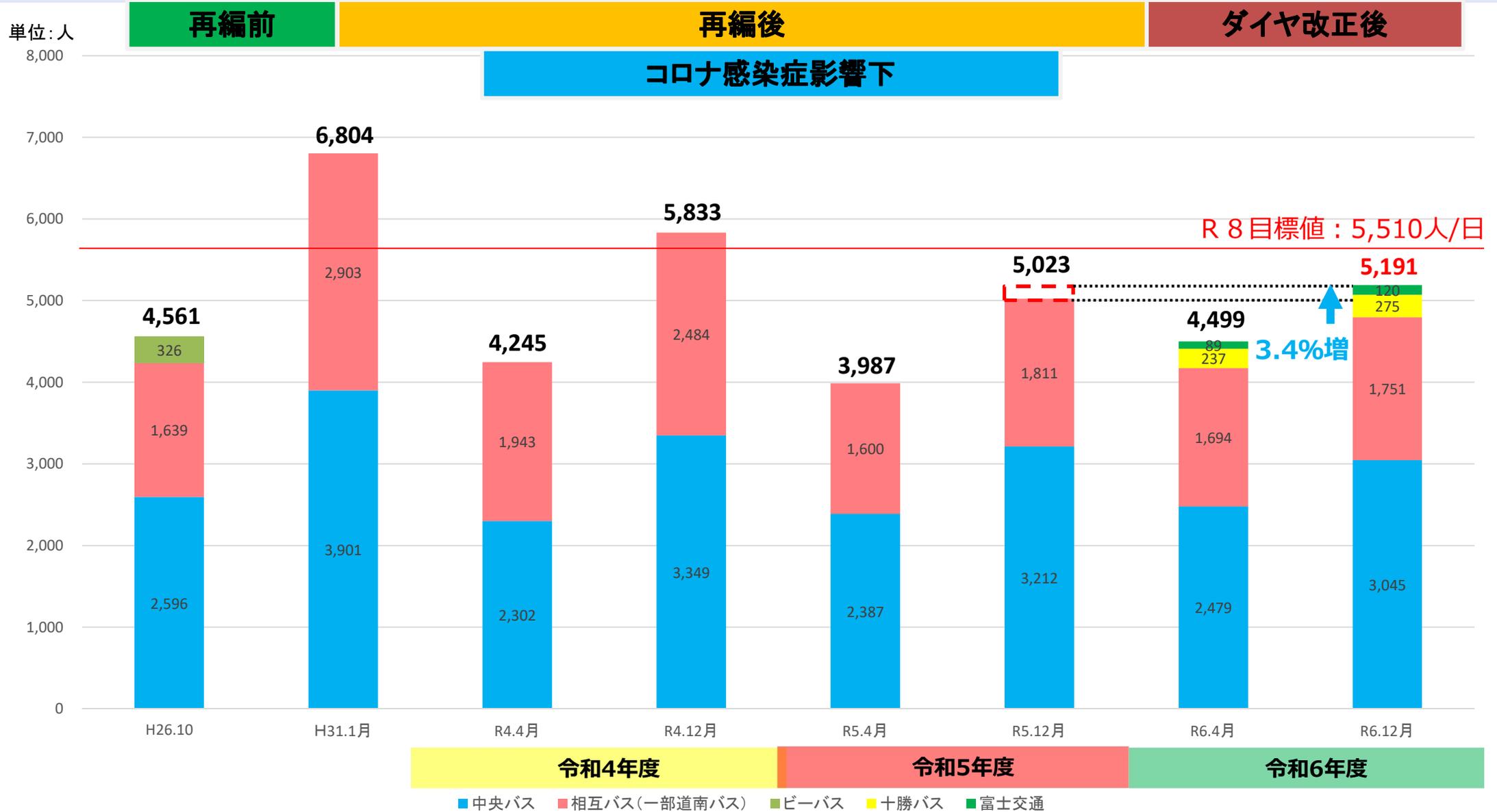


# 千歳市における 路線バスの利用状況について

# 市内路線バス利用者の推移（1日全便一斉調査）



▶ 今回の調査では、昨年と比べるとバスの便数が284便から251便に減少しているが、利用者は微増（約3.4%増加）で推移している。

# キロ・便当たりの利用者数

※カッコ内は 前回（令和5年12月調査）数値との差

運行路線		利用者数 (人/日)	営業距離 (km/日)	便数	キロ当たり利用者	便当たり平均利用者
中央バス	稲穂団地線	390 (▲156)	128.8	25	3.0 (+0.63)	15.6 (▲4.6)
中央バス	桜木空港線	161 (+17)	50.3	3	3.2 (+0.50)	53.7 (+5.7)
中央バス	桜木線	402 (+67)	238.6	16	1.7 (+0.38)	22.3 (+6.3)
中央バス	みどり台空港線	50 (▲2)	28.6	2	1.7 (▲0.05)	25.0 (▲1.0)
中央バス	みどり台線	247 (▲20)	141.4	19	1.7 (+0.35)	13.0 (+2.3)
中央バス	支笏湖線	272 (+89)	272.4	8	1.0 (+0.80)	34.0 (+11.1)
中央バス	新星空港線	712 (▲8)	378.3	29	1.9 (▲1.82)	24.6 (+1.4)
中央バス	空港市内線	226 (+5)	115.3	13	2.0 (▲1.14)	17.4 (+2.7)
中央バス	東部隊線	585 (▲147)	223.6	36	2.6 (▲0.08)	16.3 (▲0.8)
千歳相互バス	泉沢向陽台線	356 (+101)	211.1	17	1.7 (+0.59)	20.9 (+8.1)
千歳相互バス	泉沢市民病院線	864 (+160)	554.6	34	1.6 (+0.26)	25.4 (+4.7)
十勝バス	図書館青葉線	275 (▲8)	109.2	13	2.5 (+0.42)	21.2 (+3.9)
富士交通	市民病院プール線	120 (▲1)	69.2	9	1.7 (+0.52)	13.3 (+4.0)
相互・道南	勇舞空港線	531 (+77)	325.7	25	1.6 (▲1.37)	21.2 (+3.0)
合計		5,191 (+168)	2,863.5	251	1.6 (+0.45)	17.9 (+4.0)

▶路線やダイヤ（減便）の見直しにより、稲穂団地線や東部隊線で利用者の減少がみられるものの、市内全体の利用者は増加している。そのため、輸送効率が向上し、便当たりの平均利用者数が増加している。また、観光客の増加により支笏湖線などの利用者は増加している。

# 千歳駅 乗降人数の推移

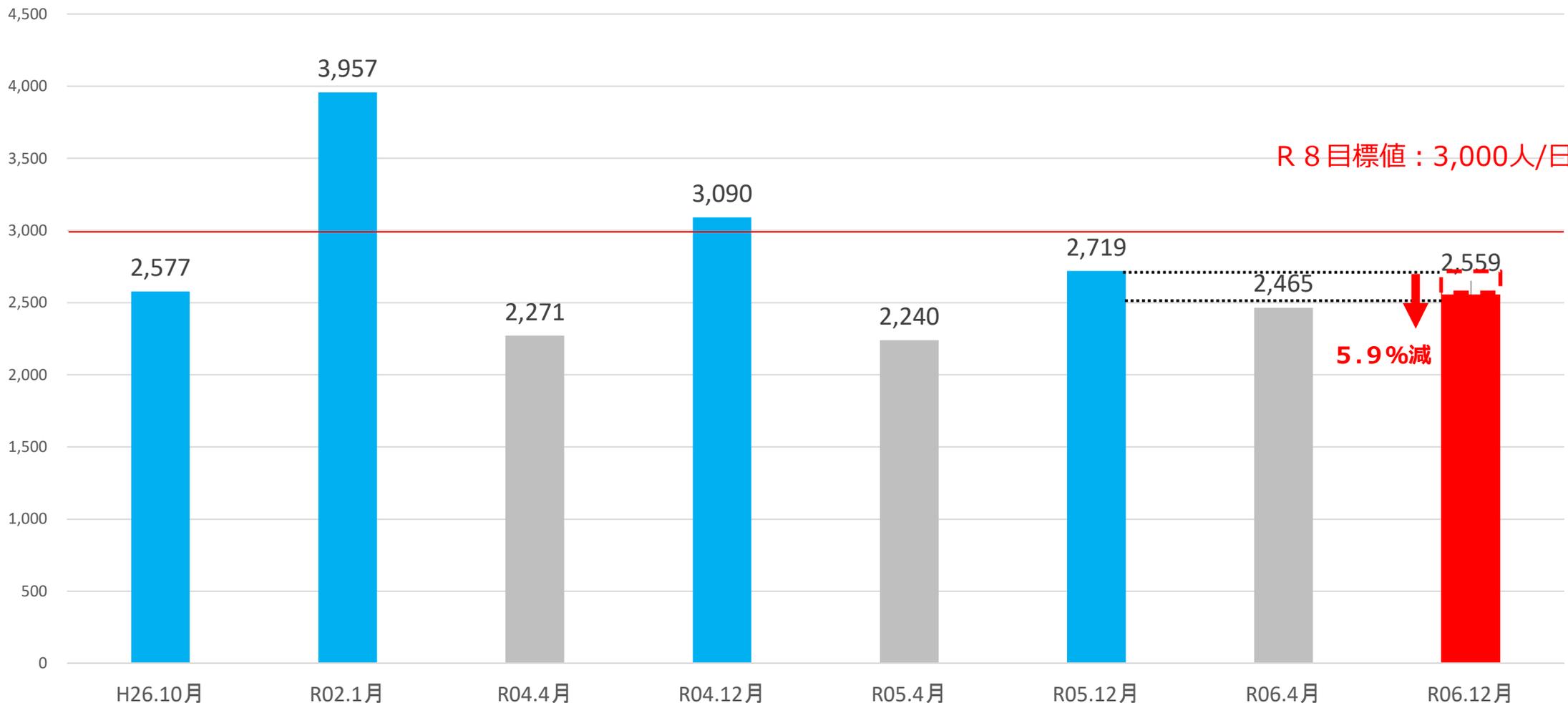
再編前

再編後

ダイヤ改正後

コロナ感染症影響下

単位:人



R 8 目標値 : 3,000人/日

5.9%減

令和4年度

令和5年度

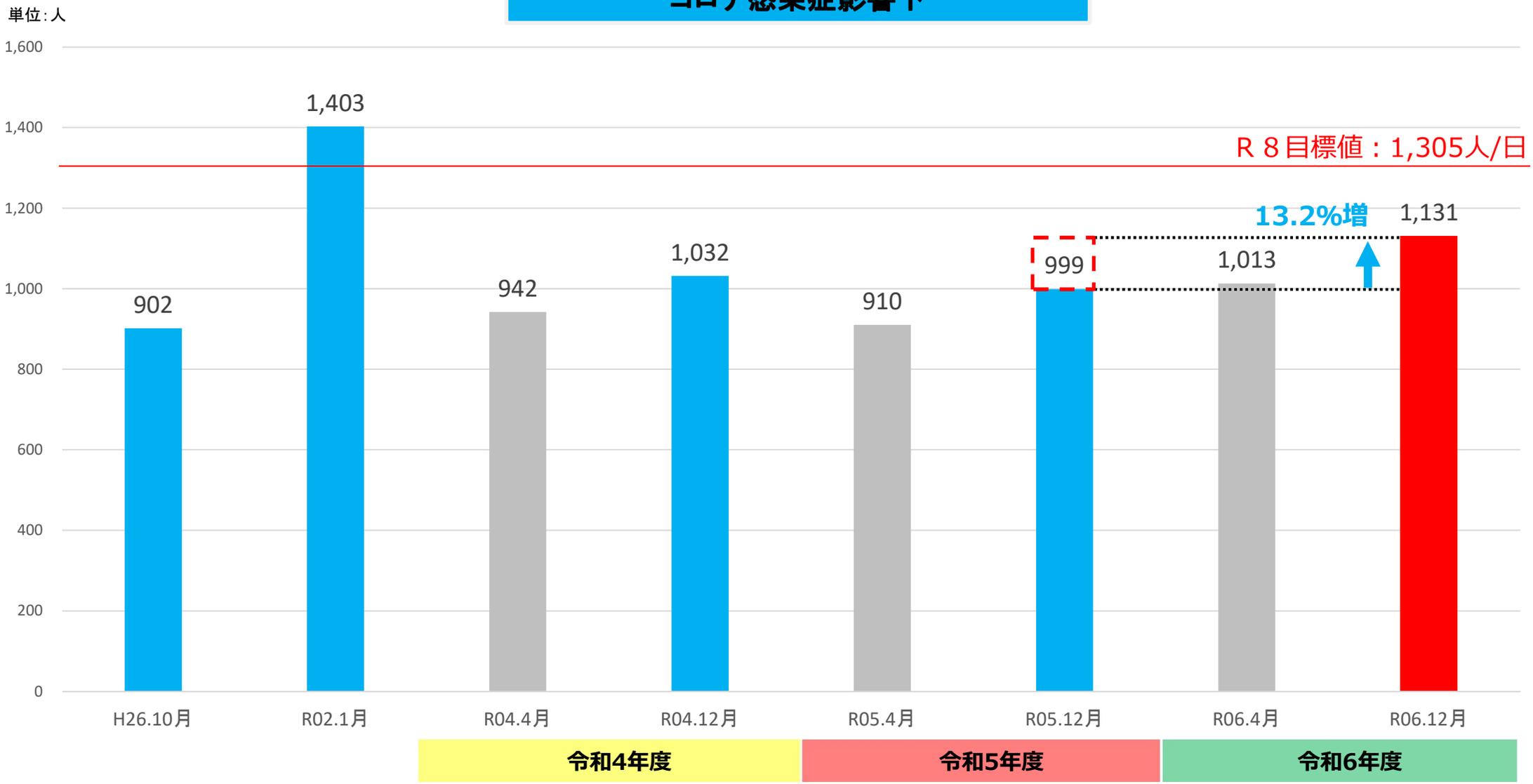
令和6年度

▶ 今回の調査では、昨年と比べると約5.9%減少している。要因としては、稲穂団地線や東部隊線などで路線の見直しや減便を行ったことが考えられる。

# 新千歳空港 乗降人数の推移

再編前      再編後      ダイヤ改正後

コロナ感染症影響下



▶ 今回の調査では、昨年と比べると約13.2%増加している。要因としては、従業員や観光客の増加が考えられる。